

※掲載内容は要約です。全文の冊子は市役所7階政策推進課で配布しているほか、市役所2階情報コーナー、ホームページ、勇払・のぞみ出張所、各コミセン、植苗ファミリーセンター、中央図書館でご覧になれます

市長公約の取り

5つの基本政策を柱とする30項目にわたる

お年寄りや子供たちが安心して暮らせるまち 苦小牧 育てます！

1 子育て世代を支援します

実施内容

- 小学生の入院についても乳幼児等医療費助成制度の対象としました。
- 公共施設を安心して授乳やおむつ交換が行える「赤ちゃんの駅」として開設するため、検討を進めました。

2 高齢者・障害者に住みよいまちをつくります

実施内容

- 地域密着型介護老人福祉施設（小規模特養）および地域密着型特定施設入居者生活介護（小規模ケアハウス）の施設整備を行いました。
- 介護支援ボランティア事業の実施に向け、先進地視察などを行いました。
- ふれあいごみ収集の取り組みを継続しました。また、ふれあい除雪を試験導入しました。

3 市民の安心できる医療体制、健康支援に取り組みます

実施内容

- 中学1年生から高校2年生を対象に子宮頸がん予防ワクチン接種の全額助成を行いました。
- 市立病院では、医師等の確保に努めたほか、接遇研修等を実施しました。また、災害拠点病院に指定されました。
- 夜間休日急病センターでは、インフルエンザ流行時期に土曜日の医師を増員して診察待機時間の短縮に努めました。

4 米軍再編の訓練移転などの対応には市民の安心、安全確保を最優先に取り組み、また、防災対策緊急出動態勢などの充実を図ります

実施内容

- 庁内で個別危機管理マニュアル作成説明会を実施しました。また、「米軍共同訓練緊急事故・事態等に関する危機管理マニュアル」は見直しました。
- 町内会に対し、自主避難困難者の把握と円滑な避難のため、災害時要援護者避難支援プラン説明会を実施しました。
- 救急隊5隊体制を維持するため救急救命士の養成を行ったほか、指揮隊を増員し組織化を進めました。

5 小中学校の適正配置を行い、教育環境を整備します

実施内容

- 拓進小学校の基本設計・実施設計および地質調査を行いました。また、平成25年3月の弥生中学校閉校に向け、苦小牧東中学校に特別支援学級を設置するため準備を進めました。
- 小学5年生と中学2年生を対象に苦小牧市統一学力検査を実施しました。また、教育支援ボランティアを配置しました。

6 公営住宅の建替え事業、補修事業を計画的に行い、快適居住空間を提供します

実施内容

- 日新町から若草町へ移転建替える市営住宅の建設用地取得、地質調査、実施設計を行いました。
- 苦小牧市営住宅長寿命化計画に基づき、明德団地や青葉団地の除却工事等を実施しました。

心の通い合う、やさしい音楽の流れる 暖かなまち 苦小牧 愛します！

1 芸術に触れる機会を多くし、身近なものにします

実施内容

- 苦小牧市美術館（仮称）の設置に向け、苦小牧市美術館基本計画を策定し、基本設計・実施設計を行いました。
- 誰でも気軽に参加できるカルチャーパーク・アートフェスティバルを開催しました。

2 国際都市 苦小牧を目指し、市民による国際交流事業を発展させます

実施内容

- 平成22年度に市民訪問団による30周年ネーピア市訪問事業を実施し、姉妹都市30周年確認書を締結したほか、市民交流会などにより友好を深めました。
- 秦皇島市に中学生10人を派遣したほか、現地の日本語学習者3人を招き、市民と交流を深めました。

3 スポーツ施設の充実、有効利用を図ります

実施内容

- 陸上競技場の第3種公認が満了となったため、第4種公認検定を受検し、公認を得ました。
- アイスホッケーの殿堂の誘致を進めた結果、白鳥アリーナへの設立が承認されました。



4 市民参加型健康事業の取り組みや、スポーツ祭の充実を図ります

実施内容

- みんなでふくし大作戦！を展開し、あいさつ声かけ運動の実施や絆フェスティバルの開催など、まちぐるみで取り組みました。
- 市民ウォーキング祭りやシニアスタンプラリーを実施したほか、出前講座において健康に対する意識啓発を図りました。

5 苦小牧の自然や文化財、歴史的建造物などの利活用を図り、苦小牧をPRしていきます

実施内容

- とまこまいフィルムコミッション公式ホームページの立ち上げやロケーションパンフレットの作成など、情報発信に努めました。
- 静川遺跡や博物館など、苦小牧の歴史を学ぶことができる文化財再発見ツアーを開催しました。

6 市民の自主的活動を支援し市民との協働を進めます

実施内容

- 北海道が取りまとめたNPO法人リストから関係団体を整理し、公表しました。
- ジュニアバスケットボール教室を開催するなど、地域スポーツ活動の活性化に努めました。

産業流通の活性化、働くあふれるまち

1 中央インターチェンジ実現に引き続き取り組みます

実施内容

- 北海道に対し、事業主体となって建設していただけるよう、苦小牧地方総合開発期成会として要望書を提出しました。
- 国に対し、緑跨線橋等の拡幅について要望しました。

2 「海と空のダブルポートのまち」の特性を活かし、苦小牧港の施設整備、新千歳空港の機能強化を進めます

実施内容

- 東港に耐震強化岸壁を設置したほか、西港定期船岸壁の再編や機能向上を図りました。
- 新千歳空港の深夜早朝便の拡大に向け検討を進めました。

3 市民に親しまれる港を目指し、市民のための港づくりをします

実施内容

- 「苦小牧クルーズ振興協議会」を設立し、歓迎体制の構築を進めました。また、北ぶ頭緑地整備を行ったほか、「みなとオアシス苦小牧運営協議会」が実施する「花いっぱい活動」などの取り組みを行いました。
- ぶらっとみなと市場に大型観光案内看板を設置し、市内観光スポットへの誘客に努めました。

